

ダイバーシティ事業 国際人事交流プログラム（派遣）  
研究交流報告書

報告日：2019年4月2日

派遣者所属名	神戸大学 人間発達環境学研究科
派遣者氏名	古川 文美子
<p>ハサヌディン大学とマカッサル州立大学の若手女性研究者とともに2019年3月21日に開催する「Strategy of Mangrove Conservation and Management –Empowering Local Actions for Future Perspectives-」（三井物産環境基金成果発表セミナー）の開催を行った。本セミナーは下記の3名と共同で企画を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ハサヌディン大学海洋学部 研究員 Nur Abu氏</li><li>・マカッサル州立大学 農学部 資源管理 助教 Ratna氏</li><li>・マカッサル州立大学 栄養学 講師 Erniwati氏</li></ul> <p>NGO関係者、研究者、政府機関、地域住民の多様なステークホルダー10名にプレゼンを中心に①ガバナンス/マネージメント②エコロジー③ソーシャルの3視点からマングローブ域を含む沿岸域マネージメントに関して参加者56名と議論を行った。</p> <p>この企画準備を進める過程で、これまではインドネシアにおける女性の地位、家父長制の影響をうけた伝統的な価値観や宗教教義の解釈によって、家庭や社会では男性が優遇されているのが現状であると考えていた。あるいは、インドネシアの社会では現在でもなお、女性は弱い立場にあり、男性に依存する存在であると位置づけられる傾向にあると考えていた。</p> <p>しかし、この企画準備を進める過程で、ハサヌディン大学とマカッサル州立大学における多くの女性研究者と会う機会インドネシア一般における女性の地位と学術界における女性の地位は大きく異なっていること実感できた。</p> <p>今後、本シンポジウムを通して構築した若手女性研究者ネットワークで、インドネシアと日本における宗教や文化的背景における女性の社会的地位やその変容に関する共同研究をしていきたい。</p> <p>引用・参考文献： <a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/3/38698/20151225175243517043/ReportJTP_29_174.pdf">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/3/38698/20151225175243517043/ReportJTP_29_174.pdf</a> 日本とインドネシアの社会における女性の立場と役割の比較（2019年3月4日閲覧）</p>	

海外派遣終了後の研究交流の進捗状況（2020年2月現在）

派遣期間中に主催した国際シンポジウムの成果をもとに本の出版を協働で進めている。また、派遣中にインタビュー調査を依頼したインドネシアの女性研究者と共に宗教や文化的背景の異なる日本とインドネシアにおける女性の社会的地位やその変容に関する共同研究を実施することを計画している。